



新関 一夫 議員

質問1 最終的に対象者のワクチン接種がすべて終了する時期は11月末までには接種を完了させたいと考えている

問 いよいよ高齢者に対する新型コロナウイルスワクチン接種が始まりましたが、以下の点についてお聞きします。

(1) ワクチン接種受付時には、多くの接種希望者が殺到すると考えられ、私は第1回定例会で混乱を回避するための工夫をすべきと指摘していましたが、受付時の状況はどのような結果で、これから接種対象者を拡大するに当たり、今後どのような対策をとるのかを伺います。

(2) 教育・保育関係職員の接種も早期に取り組むべきと考えますが、考えをお聞きます。

(3) 接種対象者が12歳まで拡大されましたが、最終的に対象者の接種がすべて終了する時期について伺います。

答(市長) (1) 市では、75歳以上を対象に予約受付を4月20日から開始しましたが、予約初日に受付可能なワクチンの数が975回分と極めて少ない配分でコールセンターがつかぬ状況となり、3時間半で予約数が埋まり、多くの皆さまにご

不便をお掛けする結果となりました。今後は、対象年齢が下がるにつれ、ウェブ予約の割合が増すことが予想されることから、当初のような大きな混乱はないと考えています。

(2) 高齢者の次に優先すべき対象であると考えており、64歳以下の基礎疾患をお持ちの方と同列で優先接種の対象としたい。(3) 10月末までの完了を基本に進め、希望日に接種できないような場合でも、11月末までには完了させたいと考えています。

質問2 対策土入れ地の水質検査について

市 長 先般、初めて基準値を超過した

問 北海道新幹線トンネル工事に伴う要対策土、条件不適土について伺います。これまでの浸出水の管理状況と、水質検査の状況について

答(市長) 鉄道・運輸機構が地下水などの水質検査を月に一度実施し、環境基準値を超えてないか確認し、検査結果は本市にも報告がされています。

去る5月31日、村山地区受け入れ地の地下水で、初めてセレン濃度が、4つある観測孔の一つで基準値の0.01mg/Lを超える0.011mg/Lとの検査結果が出たことの報告を受けました。

本市としては機構に対し、直ちに対策土の搬入を中止することや市民の安全を

最優先に村山地区受け入れ地の周辺で井戸水を利用して地域住民に報告し、井戸水の水質検査や基準値が下がるまで飲用水の供給などを要請したところです。

また、わずかの超過とはいえ、機構が設置する第三者委員会が予測したりリスク評価とは異なる結果が出たことは重大な事態であり、この状況を踏まえ、今回の水質検査とは直接関係ないものの、柳沢地区へ仮置きする条件不適土の搬入も中断するよう機構に要請したところです。

問 信頼のおける別な機関で調査をしてみらうべきと考えるがいかがか。

答(副市長) まずは、専門家による機構側の第三者委員会での原因究明についてしつかりと伺いたい。

質問3 生活交通としての巡回ワゴン実証運行の具体的な中身は

市 長 運行日を週2日、おおむね午前中に1または2往復とする

問 本年3月に「北斗市地域公共交通計画」が策定されたことに関し、以下の質問をします。

(1) JRの新函館北斗駅―函館駅間は、北海道新幹線札幌延伸時には並行在来線となりますが、北海道新幹線並行在来線対策協議会における現在の協議状況と市としての考えについて、お知らせください。(2) 「生活交通としての巡回ワゴンの導入と効率的な運行」とありますが、本年度

から予定する実証運行の具体的な中身は。**答(市長)** (1) 本年4月に開催された本協議会では、昨年度実施した旅客流動調査、将来需要予測調査及び収支予測調査の結果が報告されたところです。

現在、本協議会の幹事会において、調査結果の精査が行われており、初期投資や単年度収支の条件設定や考え方を整理し、今後、見直しの検討や個別協議が行われる予定となっています。

この調査結果は、経営分離後の並行在来線の在り方に関する方向性を決定するための重要な判断材料となりますので、今後の協議を注視してまいります。(2) 日常生活に必要な移動手段を確保するため、定時・定路線運行を行う10人乗り程度の巡回ワゴンを導入することとしています。

実証運行の運行エリアは、「茂辺地・石別地区から上磯地区までのルート」、「三好、水無、桜岱、押上、大工川地区から上磯駅前地区までのルート」、「新函館北斗駅を起終点として、稲里、白川、細入地区からせせらぎ温泉、総合分庁舎前を経由し、新函館北斗駅に戻るルート」の3エリアとしています。

また、運行日はいずれのエリアも週に2日とし、おおむね午前中に1または2往復とし、運賃は一律300円とすることなどが協議会において既に決定しています。